

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表  
(2年制写真科(昼間部))

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考		
実習	写真表現基礎演習	120	○	120					
実習	写真撮影基礎演習	120	○	120					
実習	画像処理Ⅰ	120	○	120					
実習	画像処理Ⅱ	120	○	120					
実習	スタジオ演習	120	○	120					
講義	現代写真論	120	○	120					
実習	ゼミナール	120	○	120					
実習	作品制作演習Ⅰ・Ⅱ	120							
実習	フォローアップ講座	120	○	120					
実習	ポートレート演習	120	○	120					
講義	コマーシャル基礎ゼミ	120	○	120			1ゼミを選択		
講義	ポートレート基礎ゼミ		○	120					
講義	ドキュメンタリー基礎ゼミ		○	120					
講義	フォトクリエイティブ基礎ゼミ		○	120					
実習	写真創作演習	480	○	120			専攻ゼミに応じて4科目を選択して受講		
実習	取材撮影演習		○	120	★	120			
実習	ポートレートライティング		○	120					
実習	スティルライフライティング		○	120	★	120			
実習	スタジオライティング		○	120	★	120			
講義	ヴィジュアルディレクション		○	120					
講義	映像表現論		○	120					
講義	写真表現演習		○	120					
講義	写真美術史		○	120					
実習(選択)	フォトクリエイティブ演習Ⅰ		600	○	120				選択科目のうち5科目を選択し受講
実習(選択)	フォトアート演習	○		120					
実習(選択)	写真創作演習Ⅱ	○		120					
実習(選択)	Web表現演習	○		120					
実習(選択)	ビジュアルデザイン	○		120					
実習(選択)	マガジンメイキング								
実習(選択)	文章表現演習Ⅰ	○		120					
実習(選択)	風景写真演習	○		120					
実習(選択)	ムービー制作演習	○		120					
実習(選択)	デジタル表現演習	○		120					
実習(選択)	ダークルーム	○		120					
実習(選択)	ルポルタージュ演習	○		120					
講義(選択)	写真史	○		120					
講義(選択)	写真科学	○		120					
講義(選択)	編集出版論	○		120					
講義(選択)	ドキュメンタリー写真論	○		120					
講義(選択)	英会話	○		120					
講義(選択)	メディア論	○		120					
講義(選択)	美術造形論								
講義(選択)	社会学	○		120					
講義(選択)	異文化交流演習(留学生必修)	○		120					
総授業時数		2,400			4,920		360		
卒業に必要な授業時数		2,400							

2020

区分	選択必修	対象	I部2年制 2年
----	------	----	-------------

科目名	取材撮影演習		
開講期	前後期	単位数	6
講師名	鈴木 邦弘		
授業の到達目標・講義概要	<p>この授業は、撮影対象をとおして自分なりのテーマ、作品をまとめるための背景になる部分をつひます。決められた対象から自分なりの企画を考え(アイデア、コンセプト)、実際に撮影に行き(撮影)、その経験を踏まえて企画の見直しを行い(アイデア、コンセプトの修正)、再び撮影に行き(撮影の修正)、最終的な構成を考えそれらの写真群を作品化する(シーケンス、構成)。このような作品作りのために必要なプロセスを短期間で、何回か繰り返して経験し、自分なりのテーマの発見の仕方、それに沿った与具撮影という行為、シーケンス、構成を考え、作品のまとめ方などを身につけることが到達目標です。</p>		
授業計画	回数	主題・目的	授業予定
前期	1	授業説明	公園シリーズ、動物園シリーズ、ストリート(商店街なども含む)シリーズ、街シリーズの4本のシリーズを制作してもらいます。撮影場所の決定など(全員同じ場所で撮影をすることが前提)。
	2	企画書制作	撮影対象、テーマなどの検討
	3	撮影実習	ロケハンを兼ねて
	4	企画書見直し	前回撮影した写真、経験を踏まえて、撮影対象、テーマの明確化
	5	撮影実習	
	6	撮影実習	
	7	課題提出	シーケンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント
	8	課題提出	シーケンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント
	9	企画書制作	撮影対象、テーマなどの検討
	10	撮影実習	ロケハンを兼ねて
	11	企画書見直し	前回撮影した写真、経験を踏まえて、撮影対象、テーマの明確化
	12	撮影実習	
	13	撮影実習	
	14	課題提出	シーケンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント
	15	課題提出	シーケンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A5以上のプリント
後期	1	企画書制作	撮影対象、テーマなどの検討
	2	撮影実習	ロケハンを兼ねて
	3	企画書見直し	前回撮影した写真、経験を踏まえて、撮影対象、テーマの明確化
	4	撮影実習	
	5	撮影実習	
	6	課題提出	シーケンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント
	7	課題提出	シーケンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント
	8	企画書制作	撮影対象、テーマなどの検討
	9	撮影実習	ロケハンを兼ねて
	10	企画書見直し	
	11	撮影実習	
	12	撮影実習	
	13	課題提出	シーケンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント
	14	課題提出	シーケンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント
	15	まとめ	
成績評価方法	提出した写真作品の点数を成績とします。なお、出席が全体の2/3未満の場合は、不合格となります。		
テキスト 参考書			
講義の特徴・形式 と教員紹介	撮影してきた作品を講評指導することを基本とする。担当教員はフリーランスカメラマン、写真家として、数々のドキュメンタリーや社会的な問題を対象としたルポルタージュを発表している。その優れた作品により、伊奈信天賞を受賞している。いままでの写真家としての豊富な経験や知識に基づき、取材撮影ができる人材育成に向けた授業を展開している。		

2020

区分	選択必修	対象	I部2年制 2年
----	------	----	-------------

科目名	スチルライフライティング		
-----	--------------	--	--

開講期	前後期	単位数	6
講師名	安澤 剛直		

世の中に必要とされているスチルライフとは、どんなコンセプトでどんなターゲット層にどのように響かせるか??を写真で表現することが求められています。ライティングによる表現だけでなく、構図、様々なアイデアが求められます。授業としては、ライティングの基礎、一灯ライティングによる表現、多灯ライティングによる表現、光の捉え方を中心に学びます。また、年間を通しての作品作りとコンセプトに合わせた撮影を提案する課題を中心とした実技を多く行います。ライティングの基礎から応用までを学び、広告写真としてどのような写真で表現するかを考え、それを写真として作ることに到達目標です。

授業計画	回数	主題・目的	授業予定
------	----	-------	------

前期	1		ガイダンス
	2		光のトーン／捉え方 課題（レポート）
	3		四つの基本ライティング 課題（レポート）
	4		ライティングの組み立て方 課題（レポート）
	5	実技	実技：ポートレート基本ライティング 課題あり
	6	講評	講評／ライティング表現 課題提出
	7		撮影準備（図書室など）
	8	実技	実技：ライティング表現①（化粧品） 課題あり
	9	講評	講評／再撮影テスト 課題提出
	10	実技	実技：ライティング表現 再①（化粧品） 課題あり
	11	講評	講評／次回撮影イメージ出し 課題提出
	12	実技	実技：ライティング表現 ②（時計） 課題あり
	13	講評	講評／オフカメラライティング 課題提出
	14	実技	実技：オフカメラ 商品撮影 課題あり
	15	講評	講評／後期 撮影したいものを各自考える 課題提出

後期	1		スタジオテスト撮影／準備
	2	実技	実技：スタジオライティング表現
	3	講評	講評／屋外テスト撮影
	4	実技	実技：屋外ライティング表現
	5	講評	講評／次回撮影準備
	6	実技	実技：スタジオライティング表現(各自)
	7	講評	講評／次回撮影準備
	8	実技	実技：スタジオライティング表現(各自)
	9	講評	講評／次回撮影準備
	10	実技	実技：スタジオライティング表現(各自)
	11	講評	講評／次回撮影準備
	12	実技	実技：スタジオライティング表現(各自)
	13	講評	講評／次回撮影準備
	14	実技	実技：スタジオライティング表現(各自)
	15	講評	講評／締め

成績評価方法	100点満点として採点する。出席状況、課題内容、授業態度等から総合的に評価する。なお、出席が全体の2/3未満の場合は、不合格となります。
--------	--

テキスト 参考書	
-------------	--

講義の特徴・形式 と教員紹介	実際にスタジオにてライティングしながらの実習授業を基本とする。担当教員は大手広告制作会社(株)博報堂フォトクリエイティブに所属し、独立し、その後フリーランスのフォトグラファーとして、独立、ウェブ写真と広告写真の両方を手がけるフォトグラファーとして活躍中。広告写真の基礎を学ぶ授業を展開する。
-------------------	---

2020

区分

選択必修

対象

I部2年制  
2年

科目名	スタジオライティング		
開講期	前後期	単位数	6
講師名	出水恵利子		
授業の到達目・講義概要	<p>プロとして、知っておくことが必須なことを習得するための実習を中心とした授業です。</p> <p>写真を撮る上で必要不可欠な、機材の知識、露出の計測、色温度、レンズ効果、光の見方をスタジオをとうして習得することが目標です。基本ストロボをメインに照明器具を活用して、スタジオライティングを習得します。人物と、ブツ撮り両方のライティングを学びます。まずは、スタジオ機材の活用方法を全員が、習得すること。光の見方、光の活用方法などによる作品効果と、理論と学びます。</p>		
授業計画	回数	主題・目的	授業予定
前期	1	授業概要	年間授業計画、授業の目的について、スタジオ機材の使い方
	2	人物	ライトの役割/人物用スタジオセッティング
	3	人物	照明比
	4	人物	白バックで基本ライティング撮影
	5	人物	背景自由撮影
	6	静物	静物ライティングの基本・セッティング
	7	静物	平面・俯瞰・斜俯瞰
	8	静物	立体物・三面見せ
	9	静物	白バック商品撮影
	10	静物	商品イメージ撮影
	11	静物	透過光・ペットボトル等・基本ライティング
	12	静物	透過光イメージ
	13	静物	自由作品
	14	まとめ	作品制作・課題補講
	15	まとめ	提出・講評・採点
後期	1	授業概要	後期授業内容の説明
	2	静物	製品撮影・靴・切り抜き・ライティング説明
	3	静物	製品撮影・靴・切り抜き・各自撮影
	4	静物	製品撮影・靴・角版・イメージ各自撮影
	5	人物	製品を絡めた撮影白バック
	6	人物	製品を絡めたイメージ撮影
	7	静物	食品撮影 ケーキ・ライティング説明
	8	静物	食品撮影 ケーキ イメージ各自撮影
	9	静物	飲料撮影・ウィスキーorビール・ライティング説明
	10	静物	飲料撮影・ウィスキーorビール・イメージ各自撮影
	11	人物	ファッション撮影・イメージ撮影
	12	人物	ファッション撮影・イメージ撮影
	13	自由	プレゼンによる撮影
	14	自由	作品制作・課題補講
	15	まとめ	課題提出、講評
成績評価方法	提出課題の平均点、および、出欠席の総合評価とします。※欠席1回(-3点)とします。なお、出席が全体の2/3未満の場合は、不合格となります。		
テキスト 参考書	玄光社/プロ技商品撮影 商品撮影の撮り方完全ガイド(鈴木知子)		
講義の特徴・形式 と教員紹介	スタジオでライティングしながらの実習授業を基本とする。担当教員はフリーランスのフォトグラファーとして、広告写真、商業写真など、多くの仕事を手がけている経験豊富なベテランフォトグラファーである。フリーランスフォトグラファーとしての経験をいかし、スタジオでの商品撮影の基礎を学ぶ授業を展開している。		